

大分労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました！ (フジボウテキスタイル株式会社 大分工場)

大分労働局長（中山晶彦）は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の取組の一環として、令和3年11月17日（水）に、時間外労働の削減や年次有給休暇の取得率向上など、働き方改革に積極的に取り組んでいる企業（ベストプラクティス企業）を訪問しました。

働き方改革関連法については、これまでに、時間外労働の上限規制や年次有給休暇の年5日の確実な取得など順次施行されており、ベストプラクティス企業の取組事例を参考に、引き続き時間外労働の削減等への取組をお願いいたします。

今回訪問した企業

企業名：フジボウテキスタイル株式会社 大分工場

所在地：大分市大字生石961番地

従業員数：45名（令和3年11月1日現在）

事業内容：医療製品やカメラのプラスチック部品の製造 など



挨拶をする中山労働局長

訪問当日の状況

当日は、西塔工場長、本田総務課長にご対応いただき、働き方改革の取組状況についてお話を伺った後、職場を巡回しました。

西塔工場長は、「人手不足の中、生産性向上に加え、従業員が働きやすい職場環境を作ることが大切だと考えている。従業員の声を聞きつつ、工夫しながら取り組んでいきたい。」とお話されていました。

働き方改革取組の効果

取組（裏面）を進めた結果、以下の取組効果が表れています。

- ・ 1人当たりの時間外労働時間数（年間）
70時間（平成28年）⇒ 50時間（令和2年）
【20時間の削減】
- ・ 1人当たりの年次有給休暇取得日数（年間）
5日（平成28年）⇒ 10日（令和2年）
【5日の増加】



西塔工場長から説明を受ける中山労働局長

働き方改革の主な取組事例

☑ 方針の表明

コンプライアンス行動憲章に「**安全で働きやすい環境を実現すること**」を掲げ、安全の取組とともに働き方改革に積極的に取り組む職場風土の形成に努めています。

☑ 生産ラインの自動化

作業員の負荷軽減や作業時間短縮のため、**生産ラインの自動化**を進めています。

[具体例] ・ ベルトコンベア上の製品を自動でピックアップするロボットを導入。
・ 製品の組立及び検査を一貫して自動で行う組立機を導入。

☑ コンピューター上で行う定型作業の自動化（RPA化）

PC上で行う定型作業のうち、RPA化可能な業務を洗い出し、順次対応しています。

[具体例] ・ 検査データを直接タブレットに入力し、クラウド上で管理。
・ 設備稼働率等を自動で集計。在庫管理を省力化。

☑ 新たな勤怠システムの導入

I Cカードによる勤怠管理システムを導入し、**随時、時間外労働の状況を把握**することができるようになり、労働時間削減の意識向上につながっています。



☑ 従業員の多能工化の推進

複数の製品について検査業務を行えるよう教育を行い、**製品の受注量の変化に対応**するなど、業務量の平準化を図っています。

☑ 半日年休制度の導入

年次有給休暇について、**半日単位での取得を可能**とし、取得しやすい環境を整えています。

事務所棟の前で撮影
西塔工場長（左）、中山労働局長（右）



大分労働局より

歴史ある企業として、時代の変化に柔軟に対応し、働き方改革についても工夫をしながら熱心に取り組んでいる状況がよくわかりました。

今後とも、地域のリーダーとして、模範となる取組をお願いいたします。